

東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーについて

【オリンピック聖火リレー】

●スケジュール

日程	場所
3月26日	福島県（ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ） (略)
6月27日～28日	山梨県
6月29日	神奈川県 (箱根町・箱根駅伝ゴール付近 → 藤沢市・辻堂神台公園)
6月30日	神奈川県 (三浦市・三崎フィッシャリーナ・ウォーク(うらり) → 相模原市・橋本公園)
7月1日	神奈川県 (川崎市・等々力陸上競技場 → 横浜市・赤レンガ倉庫)
7月2日～4日	千葉県 (略)
7月24日	オリンピック開会式

●本市における聖火リレー

本市におけるスポーツの聖地である等々力陸上競技場を出発地点として、7月1日に聖火ランナーが市内を走る。

聖火ランナーの出発前に「地域文化の演目披露等の後、聖火をトーチに点火し、最初のランナーを送り出すセレモニー（出発式）」が開催される。

●出発式

演目などの内容や、本市による盛り上げ演出等については、現在調整中。

●ルートについて

ルートの詳細は年末に発表される予定。

7月1日は、
川崎市制記念日



【パラリンピック聖火リレー】

●スケジュール

日程	内容
8月13日～17日	43道府県において 聖火フェスティバル を開催
8月18日～21日	パラリンピックの競技開催都市である、東京、千葉、埼玉、静岡において聖火フェスティバルを開催 21日夜には、47道府県の火とストック・マンデビルの火が東京に集まり1つの炎へと統合され、聖火が誕生
8月22日～25日	開催都市である東京で聖火リレーを実施
8月25日	パラリンピック開会式

●聖火フェスティバル（任意）

①採火（式）	各都道府県で、それぞれの共生社会への思いが込められた火を独自の手法で採火する。
②聖火ビジット	学校や病院、パラリンピックゆかりの地などへの炎の訪問イベント。
③出立（式）	採火した火を各都道府県の思いが込められた火として、開催都市の東京へと送り出す。

●神奈川県における聖火フェスティバル

「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けた思いをパラリンピック聖火に込めるため、全市町村で「採火式」を行ったうえで、全市町村の火を一つに集火し、東京へと出立させる「**集火・出立式**」を**2020年8月16日夕刻に横浜市内で開催**する。

●本市における聖火フェスティバル

県の理念と相通じる「かわさきパラムーブメント」を大きなうねりとして巻き起こすため、市内7区でそれぞれ採火した種火を「**かわさきの火**」として集め、神奈川県へと出立させる「**集火・出立式**」を**2020年8月15日夕刻に開催**する。

なお、7区では、それぞれ区の特徴を活かした採火を実施する予定。

